

グローバル厳選株式ファンド

運用報告書（全体版）

第2期（決算日 2021年8月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル厳選株式ファンド」は、2021年8月20日に第2期の決算を行いましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2019年8月28日から無期限です。
運用方針	日本を含む先進国および新興国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の積極的な成長を図ることを目指して運用を行います。
主要投資対象	RMグローバル厳選株式マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	①株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ②投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ③外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

<照会先>

電話番号：0120-223351

（委託会社の営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ：<https://www.resona-am.co.jp/>

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース)		株式組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込 分配 金	期騰 落 率	(参考指数)	期騰 落 率		
(設定日) 2019年8月28日	円 10,000	円 —	% —	110,291.26	% —	% —	百万円 500
1期(2020年8月20日)	13,356	0	33.6	128,727.59	16.7	99.0	667
2期(2021年8月20日)	19,021	0	42.4	171,088.18	32.9	98.8	951

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額(元本=10,000円)です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(米ドルベース)をもとに委託会社が円換算して計算したものです。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(米ドルベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を含む先進国および新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース)		株式組入比率
	騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率	
(期首) 2020年8月20日	円 13,356	% —	128,727.59	% —	99.0
8月末	13,691	2.5	131,144.86	1.9	99.0
9月末	13,800	3.3	126,611.28	△ 1.6	98.8
10月末	13,692	2.5	124,116.37	△ 3.6	98.6
11月末	15,040	12.6	138,135.36	7.3	98.8
12月末	15,702	17.6	142,056.03	10.4	99.0
2021年1月末	16,047	20.1	146,088.53	13.5	98.5
2月末	16,184	21.2	151,626.83	17.8	97.9
3月末	16,649	24.7	159,609.28	24.0	98.6
4月末	17,723	32.7	165,709.98	28.7	98.0
5月末	17,698	32.5	168,112.15	30.6	98.2
6月末	18,692	40.0	172,118.77	33.7	98.4
7月末	18,853	41.2	172,543.43	34.0	98.6
(期末) 2021年8月20日	19,021	42.4	171,088.18	32.9	98.8

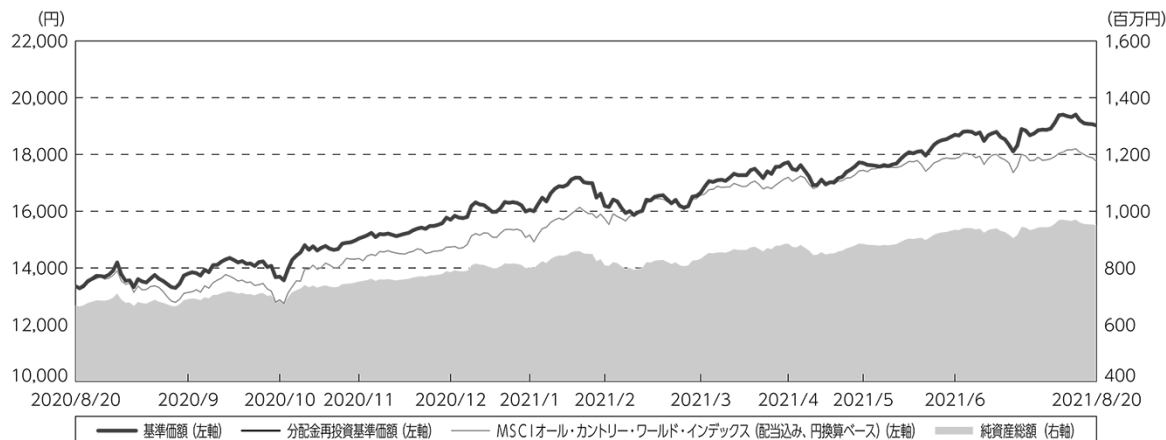
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2020年8月21日～2021年8月20日)

期中の基準価額等の推移



期首：13,356円

期末：19,021円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：42.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、期首(2020年8月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。
- (注) MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(米ドルベース)をもとに委託会社が円換算して計算したものです。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(米ドルベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を含む先進国および新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

マザーファンドを通じて投資を行った結果、当ファンドの基準価額は前期末13,356円から当期末19,021円となり、5,665円の値上がりとなりました。

国内外の株式市場全体が上昇したことに加え、保有する投資対象銘柄の選択・投資割合の管理がプラスに寄与したことが、基準価額の変動要因となりました。

投資環境

グローバル株式市況

グローバル株式市場は、前期末と比較して上昇しました。新型コロナウイルス問題に伴う先行き不透明感は期中を通じて続きましたが、主要各国の大規模な財政・金融支援策に対する期待等から上昇基調で推移しました。米国大統領選挙といった不確実性の高い政治イベントも決着が判明し、低金利環境が続くなか、新型コロナワクチンの開発・普及に伴う経済活動正常化に向けた期待に加え、米国の追加的経済対策や欧州復興基金の本格稼働といった財政支援の継続が好感され、主要国を中心に上昇基調を維持しました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して、円安となりました。

米ドルに対しては、米国における金融緩和策継続による低金利環境の長期化が見込まれるなか、米国の実質金利低下等を受けて一時102円台まで円高が進みました。一方、期後半には米国の長期金利上昇に伴う金利差拡大等を背景に円安に転じ、期末にかけては一時111円台をつける場面も見られました。

ユーロに対しては、米ドル安の進行や新型コロナワクチンの接種進展に伴う経済活動正常化期待などからユーロ高(円安)が進みました。期末にかけては、米国における金融政策の動向を睨み主要国通貨に対する米ドル安が一巡するにつれ、ユーロの上昇幅は対円でも一部縮小しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンド

RMグローバル厳選株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ(為替の売り予約)は行っておりません。

RMグローバル厳選株式マザーファンド

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

<プラス要因>

■ ガートナー(米国)

同社は、ITに関する調査ビジネスを中核とするグローバルリサーチ企業です。数千人の調査アナリストを擁しており、様々なITベンチャーを中立的な立場から評価していることが最大の特徴です。もともと顧客のIT部門を主対象にリサーチ情報を提供してきましたが、近年はIT部門以外、例えば財務部門や人事部門なども対象として高品質なITリサーチ情報を提供しています。コロナ禍当初は業績に対する懸念が先行しましたが、支出を抑えしっかりと財務体制を整えるなか、コロナ禍による社会的動向が判明するにつれ、顧客サイドでのDX(デジタル・トランスフォーメーション)需要を着実に取り込んだことから、市場予想を大きく上回る業績推移となり、株価も大きく上昇しました。

■ アライン・テクノロジー（米国）

同社は、歯列矯正器具を提供するグローバル企業です。従来のワイヤーによる歯列矯正器具ではなく、透明な樹脂を使った取り外し可能なマウスピース型の矯正器具を扱う、この分野でのトップ企業です。マウスピース型器具は審美性に優れる一方で、当初はワイヤーによる歯列矯正器具と比べて矯正効果に関しては劣っている点が多く見られました。同社は医療機器業界で実績を積んだマネジメントのもと、研究開発によるイノベーションを重ねたことで矯正効果を大きく向上させることに成功し、従来型の矯正器具から大きくシェアを獲得することに成功しています。当期はコロナ禍からの回復が鮮明になるなかで、歯科矯正の専門医に限らず、一般の歯科医師の取り扱いが大きく増加するなど戦略の進捗があったことからシェアの上昇が顕著となり、好調な株価推移が持続しました。

<マイナス要因>**■ クリスチャン・ハンセン（デンマーク）**

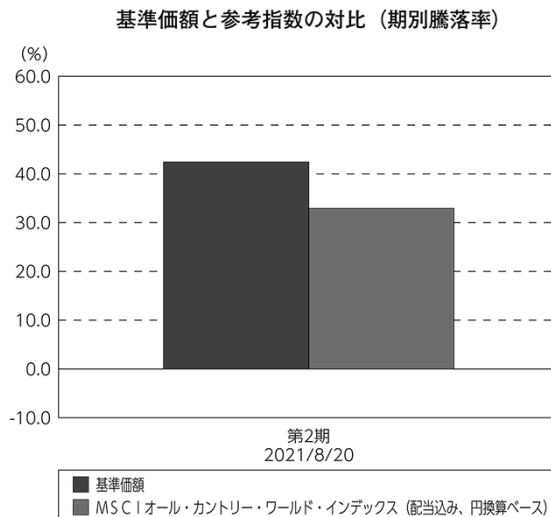
同社はヨーグルトやチーズ等の原材料となる乳酸菌などを主力にビジネスを展開し、この領域ではトップのグローバル企業です。長年の蓄積により乳酸菌を含む数万種類の菌類をライブラリとして保有しており、それらをベースに味や食感に加え、保存期間の長期化などの付加価値を提供しています。また、大規模な生産工場一括生産し、冷凍後に空輸で世界中に届けるといった優れたビジネスモデルを構築しています。その結果、これまで乳酸菌を汚染リスクなどがある自己培養で調達していた小規模酪農家等も手頃な価格で凍結乳酸菌の入手が可能となり、同社の高成長に大きく寄与してきました。

当期は、これまで同社の成長をけん引していた中国部門の成長が鈍化しているとの懸念が強まり、低調な株価推移となりました。その背景として、近年ではオーツミルク等の乳製品ではない植物性ミルクなどの需要が大きく高まり、ヨーグルト市場自体の成長が鈍化していることが考えられます。当ファンドでは、同社の競争力に大きな変化はなく、中国部門の業績が足元では改善傾向にあることや、中国のヨーグルト市場においては常温ヨーグルトといった新しいカテゴリーへの需要が高まっていることから、今後株価評価の見直しが進むものと判断しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第2期
	2020年8月21日～ 2021年8月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,021

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンド

引き続き、RMグローバル厳選株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。
なお、原則として、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

RMグローバル厳選株式マザーファンド

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選した投資を継続します。

足元では耐性を獲得したとされる新型コロナウイルスの変異株が猛威を振るうなど、景気の先行き不透明感は依然として強く、株式相場は変動性が大きく、また不安定な動きが予想されます。

そうしたなか、短期的な相場動向に左右されず、競争に勝ち続け、持続的な成長確度が高い企業を長期的な視点から見極めていくべく、徹底した深掘り調査・分析を進めてまいります。また、コロナ禍に伴う社会構造の変化にも十分留意したうえで、銘柄選択を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年8月21日～2021年8月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	266	1.650	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(131)	(0.809)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(131)	(0.808)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(5)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.035	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(6)	(0.035)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.010	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(2)	(0.010)	
(d) そ の 他 費 用	14	0.086	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(12)	(0.075)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.009)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	288	1.781	
期中の平均基準価額は、16,147円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

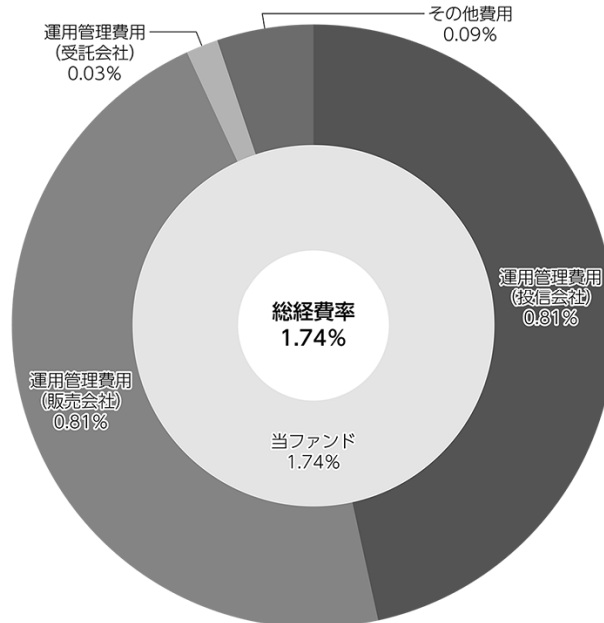
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年8月21日～2021年8月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
RMグローバル厳選株式マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 8,160	千円 13,570

○株式売買比率

(2020年8月21日～2021年8月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	RMグローバル厳選株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	292,192千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	795,438千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.36

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2020年8月21日～2021年8月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年8月21日～2021年8月20日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年8月21日～2021年8月20日)

期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取引理由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2021年8月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
RMグローバル厳選株式マザーファンド	491,692	483,532	950,672

○投資信託財産の構成

(2021年8月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
RMグローバル厳選株式マザーファンド	950,672	99.2
コール・ローン等、その他	7,562	0.8
投資信託財産総額	958,234	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) RMグローバル厳選株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(831,798千円)の投資信託財産総額(950,651千円)に対する比率は87.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.89円、1ユーロ=128.38円、1デンマーククローネ=17.26円、1オーストラリアドル=78.60円、1香港ドル=14.11円、1新台湾ドル=3.9261円。

○特定資産の価格等の調査

(2020年8月21日～2021年8月20日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年8月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	958,234,821
コール・ローン等	7,562,442
RMグローバル厳選株式マザーファンド(評価額)	950,672,379
(B) 負債	7,178,932
未払信託報酬	7,141,818
未払利息	20
その他未払費用	37,094
(C) 純資産総額(A-B)	951,055,889
元本	500,000,000
次期繰越損益金	451,055,889
(D) 受益権総口数	500,000,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,021円

(注) 当ファンドの期首元本額は500,000,000円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円です。

(注) 当期末の1口当たり純資産額は1.9021円です。

○損益の状況 (2020年8月21日～2021年8月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 3,353
支払利息	△ 3,353
(B) 有価証券売買損益	296,719,976
売買益	296,719,976
(C) 信託報酬等	△ 13,469,011
(D) 当期損益金(A+B+C)	283,247,612
(E) 前期繰越損益金	167,808,277
(F) 計(D+E)	451,055,889
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	451,055,889
分配準備積立金	451,055,889

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(3,591,198円)、費用控除後の有価証券等損益額(279,656,414円)、および分配準備積立金(167,808,277円)より分配対象収益は451,055,889円(1万口当たり9,021円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

○お知らせ

・投資する親投資信託の名称変更に伴い、約款に所要の変更を行いました。(2021年4月24日)

<当ファンドが投資対象とするRMグローバル厳選株式マザーファンドは以下の約款変更を行いました。>

・ファンド名称の冒頭部分の「RAM」を「RM」に変更するため、約款に所要の変更を行いました。(2021年4月24日)

RMグローバル厳選株式マザーファンド

運用報告書

第2期（決算日 2021年8月20日）
（2020年8月21日～2021年8月20日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2019年8月28日から無期限です。
運用方針	<p>①主として、日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場または店頭登録されている株式*に投資し、信託財産の積極的な成長を目指します。 *上場予定、店頭登録予定を含みます。 *DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証券等を含みます。</p> <p>②経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行います。</p> <p>③株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p>
主要投資対象	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
主な投資制限	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

りそなアセットマネジメント 株式会社

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース) (参考指数)		株組入比率	純資産総額
	騰落	中率	騰落	中率		
(設定日)	円	%		%	%	百万円
2019年8月28日	10,000	—	110,291.26	—	—	499
1期(2020年8月20日)	13,576	35.8	128,727.59	16.7	99.1	667
2期(2021年8月20日)	19,661	44.8	171,088.18	32.9	98.9	950

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額(元本=10,000円)です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(米ドルベース)をもとに委託会社が円換算して計算したものです。MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(米ドルベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を含む先進国および新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース) (参考指数)		株組入比率
	騰落	率	騰落	率	
(期首) 2020年8月20日	円	%		%	%
	13,576	—	128,727.59	—	99.1
8月末	13,923	2.6	131,144.86	1.9	99.1
9月末	14,053	3.5	126,611.28	△ 1.6	98.9
10月末	13,962	2.8	124,116.37	△ 3.6	98.6
11月末	15,359	13.1	138,135.36	7.3	98.9
12月末	16,058	18.3	142,056.03	10.4	99.0
2021年1月末	16,433	21.0	146,088.53	13.5	98.6
2月末	16,595	22.2	151,626.83	17.8	97.9
3月末	17,097	25.9	159,609.28	24.0	98.6
4月末	18,226	34.3	165,709.98	28.7	98.1
5月末	18,226	34.3	168,112.15	30.6	98.2
6月末	19,276	42.0	172,118.77	33.7	98.4
7月末	19,469	43.4	172,543.43	34.0	98.7
(期末) 2021年8月20日	19,661	44.8	171,088.18	32.9	98.9

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2020年8月21日～2021年8月20日)

期中の基準価額等の推移

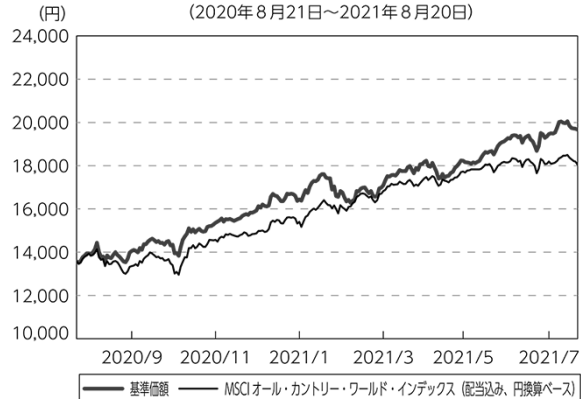
○基準価額の変動要因

基準価額は前期末13,576円から当期末19,661円となり、6,085円の値上がりとなりました。

国内外の株式市場全体が上昇したことに加え、保有する投資対象銘柄の選択・投資割合の管理がプラスに寄与したことが、基準価額の変動要因となりました。

基準価額等の推移

(2020年8月21日～2021年8月20日)



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一となるよう指数化しています。

投資環境

グローバル株式市況

グローバル株式市場は、前期末と比較して上昇しました。新型コロナウイルス問題に伴う先行き不透明感は期中を通じて続きましたが、主要各国の大規模な財政・金融支援策に対する期待等から上昇基調で推移しました。米国大統領選挙といった不確実性の高い政治イベントも決着が判明し、低金利環境が続くなか、新型コロナワクチンの開発・普及に伴う経済活動正常化に向けた期待に加え、米国の追加的経済対策や欧州復興基金の本格稼働といった財政支援の継続が好感され、主要国を中心に上昇基調を維持しました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して、円安となりました。

米ドルに対しては、米国における金融緩和策継続による低金利環境の長期化が見込まれるなか、米国の実質金利低下等を受けて一時102円台まで円高が進みました。一方、期後半には米国の長期金利上昇に伴う金利差拡大等を背景に円安に転じ、期末にかけては一時111円台をつける場面も見られました。

ユーロに対しては、米ドル安の進行や新型コロナワクチンの接種進展に伴う経済活動正常化期待などからユーロ高(円安)が進みました。期末にかけては、米国における金融政策の動向を睨み主要国通貨に対する米ドル安が一巡するにつれ、ユーロの上昇幅は対円でも一部縮小しました。

当ファンドのポートフォリオ

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

<プラス要因>

■ ガートナー（米国）

同社は、ITに関する調査ビジネスを中核とするグローバルリサーチ企業です。数千人の調査アナリストを擁しており、様々なITベンチャーを中立的な立場から評価していることが最大の特徴です。もともと顧客のIT部門を主対象にリサーチ情報を提供してきましたが、近年はIT部門以外、例えば財務部門や人事部門なども対象として高品質なITリサーチ情報を提供しています。コロナ禍当初は業績に対する懸念が先行しましたが、支出を抑えしっかりと財務体制を整えるなか、コロナ禍による社会的動向が判明するにつれ、顧客サイドでのDX（デジタル・トランスフォーメーション）需要を着実に取り込んだことから、市場予想を大きく上回る業績推移となり、株価も大きく上昇しました。

■ アライン・テクノロジー（米国）

同社は、歯列矯正器具を提供するグローバル企業です。従来のワイヤーによる歯列矯正器具ではなく、透明な樹脂を使った取り外し可能なマウスピース型の矯正器具を扱う、この分野でのトップ企業です。マウスピース型器具は審美性に優れる一方で、当初はワイヤーによる歯列矯正器具と比べて矯正効果に関しては劣っている点が多く見られました。同社は医療機器業界で実績を積んだマネジメントのもと、研究開発によるイノベーションを重ねたことで矯正効果を大きく向上させることに成功し、従来型の矯正器具から大きくシェアを獲得することに成功しています。当期はコロナ禍からの回復が鮮明になるなかで、歯科矯正の専門医に限らず、一般の歯科医師の取り扱いが大きく増加するなど戦略の進捗があったことからシェアの上昇が顕著となり、好調な株価推移が持続しました。

<マイナス要因>

■ クリスチャン・ハンセン（デンマーク）

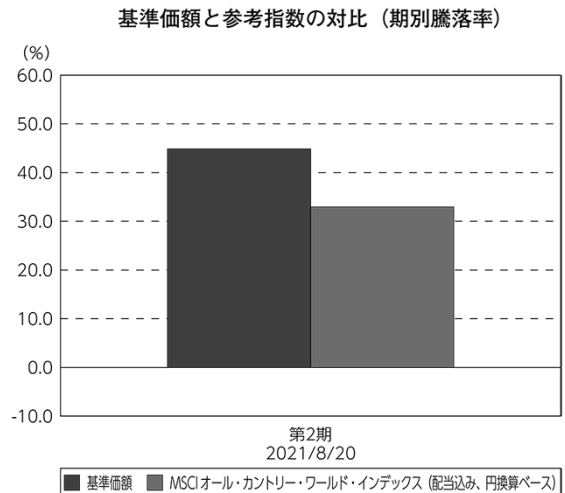
同社はヨーグルトやチーズ等の原材料となる乳酸菌などを主力にビジネスを展開し、この領域ではトップのグローバル企業です。長年の蓄積により乳酸菌を含む数万種類の菌類をライブラリとして保有しており、それらをベースに味や食感に加え、保存期間の長期化などの付加価値を提供しています。また、大規模な生産工場一括生産し、冷凍後に空輸で世界中に届けるといった優れたビジネスモデルを構築しています。その結果、これまで乳酸菌を汚染リスクなどがある自己培養で調達していた小規模酪農家等も手頃な価格で凍結乳酸菌の入手が可能となり、同社の高成長に大きく寄与してきました。

当期は、これまで同社の成長をけん引していた中国部門の成長が鈍化しているとの懸念が強まり、低調な株価推移となりました。その背景として、近年ではオーツミルク等の乳製品ではない植物性ミルクなどの需要が大きく高まり、ヨーグルト市場自体の成長が鈍化していることが考えられます。当ファンドでは、同社の競争力に大きな変化はなく、中国部門の業績が足元では改善傾向にあることや、中国のヨーグルト市場においては常温ヨーグルトといった新しいカテゴリーへの需要が高まっていることから、今後株価評価の見直しが進むものと判断しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



○今後の運用方針

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選した投資を継続します。

足元では耐性を獲得したとされる新型コロナウイルスの変異株が猛威を振るうなど、景気の先行き不透明感は依然として強く、株式相場は変動性が大きく、また不安定な動きが予想されます。

そうしたなか、短期的な相場動向に左右されず、競争に勝ち続け、持続的な成長確度が高い企業を長期的な視点から見極めていくべく、徹底した深掘り調査・分析を進めてまいります。また、コロナ禍に伴う社会構造の変化にも十分留意したうえで、銘柄選択を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年8月21日～2021年8月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 6 (6)	% 0.035 (0.035)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.010 (0.010)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	13 (12) (0)	0.077 (0.075) (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	21	0.122	
期中の平均基準価額は、16,556円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年8月21日～2021年8月20日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 5	千円 30,661	千株 4	千円 53,245
	アメリカ	百株 20 (33)	千米ドル 557 (—)	百株 15	千米ドル 495
外	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	0.6	42	0.7	57
	フランス	—	—	—	—
	オランダ	(44)	(—)	—	—
国	デンマーク	—	—	1	59
	デンマーク	7	千デンマーククローネ 391	—	千デンマーククローネ —
	オーストラリア	100	千オーストラリアドル 327	—	千オーストラリアドル —
	香港	—	千香港ドル —	40	千香港ドル 669
台湾	100 (3)	千新台幣ドル 2,451 (△ 7)	100	千新台幣ドル 5,811	

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2020年8月21日～2021年8月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	292,192千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	795,438千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.36

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2020年8月21日～2021年8月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2020年8月21日～2021年8月20日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2021年8月20日現在)

国内株式

銘柄	株数	期首(前期末)	当期		末
		株数	株数	評価額	評価額
		千株	千株	千円	
医薬品 (49.0%)					
塩野義製薬	3.2		4.5		30,613
ペプチドリーム	4.3		6.6		26,136
電気機器 (26.7%)					
日本電産	3		—		—
キーエンス	0.4		0.5		30,940
サービス業 (24.3%)					
エムスリー	4.6		4		28,152
合計	株数・金額	15	15	115,841	
	銘柄数<比率>	5	4	<12.2%>	

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額 千米ドル	邦貨換算金額 千円		
(アメリカ)	百株	百株				
DANAHER CORP	11	10	345	37,953	ヘルスケア機器・サービス	
WALT DISNEY CO/THE	16	14	252	27,758	メディア・娯楽	
ECOLAB INC	9	12	274	30,191	素材	
AMPHENOL CORP-CL A	20	41	308	33,883	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
GARTNER INC	14	11	342	37,649	ソフトウェア・サービス	
NIKE INC -CL B	18	18	307	33,845	耐久消費財・アパレル	
VISA INC-CLASS A SHARES	9	11	261	28,755	ソフトウェア・サービス	
VMWARE INC-CLASS A	13	16	255	28,040	ソフトウェア・サービス	
ABIOMED INC	7	8	285	31,356	ヘルスケア機器・サービス	
ADOBE INC	4	5	337	37,138	ソフトウェア・サービス	
ALIGN TECHNOLOGY INC	7	4	314	34,590	ヘルスケア機器・サービス	
ANSYS INC	7	7	273	30,072	ソフトウェア・サービス	
AMAZON.COM INC	0.8	0.8	255	28,024	小売	
INTUITIVE SURGICAL INC	3	3	330	36,309	ヘルスケア機器・サービス	
NVIDIA CORP	5	16	324	35,679	半導体・半導体製造装置	
SVB FINANCIAL GROUP	—	5	287	31,604	銀行	
小 計	株 数 ・ 金 額	150	189	4,757	522,853	
	銘柄 数 < 比 率 >	15	16	—	< 55.0% >	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
RATIONAL AG	3	3	290	37,277	資本財	
小 計	株 数 ・ 金 額	3	3	290	37,277	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 3.9% >	
(ユーロ…フランス)						
DASSAULT SYSTEMES SA	11	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
DASSAULT SYSTEMES SE	—	55	265	34,057	ソフトウェア・サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	11	55	265	34,057	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 3.6% >	
(ユーロ…オランダ)						
ASML HOLDING NV	5	4	298	38,297	半導体・半導体製造装置	
小 計	株 数 ・ 金 額	5	4	298	38,297	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 4.0% >	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	20	63	853	109,633	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	3	—	< 11.5% >	
(デンマーク)				千デンマーククローネ		
CHR HANSEN HOLDING A/S	20	27	1,594	27,515	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額	20	27	1,594	27,515	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 2.9% >	
(オーストラリア)				千オーストラリアドル		
WISETECH GLOBAL LTD	—	100	361	28,374	ソフトウェア・サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	—	100	361	28,374	
	銘柄 数 < 比 率 >	—	1	—	< 3.0% >	
(香港)				千香港ドル		
SHENZHO INTERNATIONAL GROUP	152	112	2,076	29,299	耐久消費財・アパレル	
小 計	株 数 ・ 金 額	152	112	2,076	29,299	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 3.1% >	
(台湾)				千新台湾ドル		
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	156	126	7,043	27,653	半導体・半導体製造装置	
KING SLIDE WORKS CO LTD	152	202	7,292	28,629	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額	
(台湾) CUB ELECPARTS INC VOLTRONIC POWER TECHNOLOGY	百株 354 75	百株 354 58	外貨建金額 千新台幣ドル 5,134 7,608	邦貨換算金額 千円 20,159 29,870	自動車・自動車部品 資本財
小 計	株 数 ・ 金 額	737 740	27,078	106,312	
	銘柄数<比率>	4	—	<11.2%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	1,080 1,232	—	823,988	
	銘柄数<比率>	24	—	<86.7%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2021年8月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 939,829	% 98.9
コール・ローン等、その他	10,822	1.1
投資信託財産総額	950,651	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(831,798千円)の投資信託財産総額(950,651千円)に対する比率は87.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.89円、1ユーロ=128.38円、1デンマーククローネ=17.26円、1オーストラリアドル=78.60円、1香港ドル=14.11円、1新台幣ドル=3.9261円。

○特定資産の価格等の調査

(2020年8月21日~2021年8月20日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年8月20日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	950,651,050	
コール・ローン等	10,785,339	
株式(評価額)	939,829,949	
未収配当金	35,762	
(B) 負債	26	
未払利息	8	
その他未払費用	18	
(C) 純資産総額(A-B)	950,651,024	
元本	483,532,058	
次期繰越損益金	467,118,966	
(D) 受益権総口数	483,532,058口	
1万口当たり基準価額(C/D)	19,661円	

(注) 当ファンドの期首元本額は491,692,990円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は8,160,932円です。

(注) 2021年8月20日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル厳選株式ファンド 483,532,058円

(注) 当期末の1口当たり純資産額は1.9661円です。

○損益の状況 (2020年8月21日～2021年8月20日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	3,815,874	
受取配当金	3,819,882	
支払利息	△ 4,008	
(B) 有価証券売買損益	293,521,376	
売買益	302,541,991	
売買損	△ 9,020,615	
(C) 保管費用等	△ 623,100	
(D) 当期損益金(A+B+C)	296,714,150	
(E) 前期繰越損益金	175,813,884	
(F) 解約差損益金	△ 5,409,068	
(G) 計(D+E+F)	467,118,966	
次期繰越損益金(G)	467,118,966	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

- ・ファンド名称の冒頭部分の「RAM」を「RM」に変更するため、約款に所要の変更を行いました。(2021年4月24日)